

おおさかしこうれいしゃじったいちょうさひょう (あん)
大阪市高齢者実態調査票 (案)

ほんにんちょうさ
(本人調査)

【調査についてのお問い合わせ先】

おおさかし ふくしきょく こうれいしゃしやくぶ
大阪市 福祉局 高齢者施策部

こうれいふくしか
高齢福祉課

でんわ
電話：6208-8026

ファックス：6202-6964

うけつけじかん へいじつ ごぜん じ じ ふん ここ じ じ ぶん
(受付時間：平日 午前9時～12時15分・午後1時～5時30分)

(ご記入にあたってのお願い)

この調査は、記入日現在の状況でお答えください。

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

月 日までに郵便ポストに投かんしてください。

この調査は、あて名のご本人がお答えください。

ただし、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の意向を考慮して記入してください。

この調査の回答は、あてはまる番号に をつけていただくものがほとんどです。

質問により、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、質問に沿ってご回答ください。

また、「その他」に をつけられた場合は、()内になるべく具体的にその内容を記入してください。

答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要はありません。答えられる範囲でお答えください。

調査の対象となっている方が何らかの事情により回答できない場合には、次のいずれかに をつけて、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご返送ください。

- 1 病院に入院中
- 2 特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の施設に入所中
- 3 本人の意思が確認できない
- 4 転居
- 5 死亡
- 6 その他()

《上記以外の場合は、次ページからの質問にお答えください。》

と
問1 この調査票をご記入されるのはどなたですか。(はひとつ)

1 本人	2 家族	3 その他()
------	------	----------

と
問2 あなた(あて名ご本人：以降の質問も同じ)の性別、年齢などについておたずねします。(それぞれ はひとつ)

(1) 性別

1 男	2 女
-----	-----

(2) 年齢

1 65～69歳	3 75～79歳	5 85～89歳
2 70～74歳	4 80～84歳	6 90歳以上

(3) お住いの区

1 北区	6 西区	11 西淀川区	16 旭区	21 住吉区
2 都島区	7 港区	12 淀川区	17 城東区	22 東住吉区
3 福島区	8 大正区	13 東淀川区	18 鶴見区	23 平野区
4 此花区	9 天王寺区	14 東成区	19 阿倍野区	24 西成区
5 中央区	10 浪速区	15 生野区	20 住之江区	

と
問3 あなたと同居されている家族の状況についておたずねします。(はひとつ)

1 ひとり暮らし 別紙の「ひとり暮らしの方へ」についてもご記入をお願いします。 (問4へ)
2 夫婦のみで、配偶者も65歳以上
3 夫婦のみで、配偶者が65歳未満
4 1～3以外の世帯で、全員65歳以上
5 その他の世帯(1～4以外の世帯)

と
問3-1 あなたの昼間の状況についておたずねします。(はひとつ)

1 一人だけのときの方が多い
2 一人だけになるときは少ない
3 一人だけになるときはほとんどない

問4 あなたのお住まいの住宅についておたずねします。(はひとつ)

- 1 持ち家(一戸建) (問4-1へ)
- 2 持ち家(マンションなどの共同住宅)
- 3 市営住宅・府営住宅
- 4 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅
- 5 民間の賃貸住宅(6を除く)
- 6 サービス付き高齢者向け住宅
- 7 有料老人ホーム
- 8 その他()

問4-1 お住まいの住宅の建築時期についておたずねします。(はひとつ)

- 1 昭和56年5月31日以前に完成
 - 2 昭和56年6月以降に完成
 - 3 わからない
- (問4-2へ)

問4-2 お住まいの住宅は、建物として段差の解消や手すりの設置(改修)をして
いたり、緊急時対応の職員がいたりする等、高齢者が安全・安心に暮らす
対応がされていますか?(はひとつ)

- 1 対応されている
- 2 対応されていない

問5 あなたの介護保険の申請、認定状況についておたずねします。(はひとつ)

- | | | |
|-----------------|------------|--------------------|
| 1 非該当(自立)(問6へ) | 6 要介護3 | 10 申請していない(問5-2へ) |
| 2 要支援1 | 7 要介護4 | 11 わからない(問6へ) |
| 3 要支援2 | 8 要介護5 | |
| 4 要介護1 | 9 現在申請中である | |
| 5 要介護2 | (結果がでていない) | |

問5-1 あなたが現在、利用されている介護保険サービスについておたずねします。(はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1 訪問介護(ホームヘルプサービス) | (問6へ) |
| 2 訪問看護 | |
| 3 通所介護(デイサービス) | |
| 4 短期入所生活介護(ショートステイ) | |
| 5 夜間対応型訪問介護 | |
| 6 認知症対応型通所介護(認知症の人向けのデイサービス) | |
| 7 小規模多機能型居宅介護 | |
| 8 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) | |
| 9 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス) | |
| 10 その他() | |
| 11 利用していない | |

問5-2 申請していない理由についておたずねします。(はひとつ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 介護サービスを受ける必要がない | 4 申請の手続きが面倒である |
| 2 受けたいサービスがない | 5 介護サービスの利用料が高い |
| 3 申請の手続きがわからない | 6 その他() |

問6 あなたの日常生活の状況についておたずねします。(はひとつ)

- | |
|---|
| 1 日常生活は自分で行え、交通機関等を利用して一人で外出できる |
| 2 日常生活はほぼ自分で行え、近所であれば一人で外出できる |
| 3 家の中での生活はおおむね自分でやっているが、外出は一人ではできない |
| 4 家の中での生活は誰かの手助けが必要で、日中もベッド(ふとん)のうえにいることが多い |
| 5 トイレ、食事、着替えなども介助が必要で、一日中ベッド(ふとん)のうえにいる |

(簡単な説明は同封の別紙をご覧ください。)

とい
問7 あなたは、^{かいもの}買物や^{さんぽ}散歩を含め、どれくらい^{がいしゅつ}外出しますか。(はひとつ)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 ほとんど毎日 | } (問8へ) |
| 2 週に1回以上外出する | |
| 3 月に1~3回しか外出しない | |
| 4 ほとんど外出しない | |



とい
問7-1 ほとんど^{がいしゅつ}外出しない^{りゆう}理由は何ですか。(はいくつでも)

- 1 身体上^{しんたいじょう}の理由^{りゆう}で外出^{がいしゅつ}が困難^{こんなん}だから
- 2 付き添い^{つきそ}あるいは介助者^{かいじょしゃ}がいなかったため外出^{がいしゅつ}に苦勞^{くろう}するから
- 3 バス、地下鉄^{ちかてつ}、電車^{でんしゃ}などへの乗車^{じょうしゃ}が困難^{こんなん}だから
- 4 出^でかけたい場所^{ばしょ}がない
- 5 人と会う^{ひとあ}のがおっくうに感じ^{かん}られるから
- 6 その他^た()
- 7 特^{とく}にない

問8 健康に気をつけている事についておたずねします。(はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 食事に気をつけている | 6 たばこは吸わない |
| 2 体力を維持するための運動や散歩をしている | 7 お酒は飲まないか、飲みすぎないようにしている |
| 3 休養や睡眠に気をつけている | 8 その他() |
| 4 規則正しい生活をしている | 9 特に気をつけている事はない |
| 5 定期的に健康診断を受けている | |

問8-1 どこで運動や散歩を行っていますか。またその頻度はどれくらいですか。

(は(1)~(7)の実施状況欄にそれぞれひとつずつ)

場所	実施状況			
(1)自宅	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない
(2)近隣を散歩	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない
(3)公園やグラウンド	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない
(4)老人憩の家など地域の会館	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない
(5)市立のスポーツセンターやプール	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない
(6)民間施設のスポーツジムやスポーツ教室など	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない
(7)その他()	1 ほとんど毎日	2 週に1回以上	3 月に1~3回	4 行っていない

問9 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

(はひとつ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問10 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っていますか。(はひとつ)

！ひとこと！ 骨、関節、筋肉などの運動器の機能が衰えるために介護が必要となる状態もしくは恐れのある状態をロコモティブシンドロームといいます。

- | |
|--------------------------|
| 1 言葉も意味も知っていた |
| 2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった |
| 3 言葉を聞いたことがない |

問11 ^{ちやくもく} ^{せいかつしゅうかんびょうよぼう} ^{けんしん} ^{とくていけんしん}
メタボリックシンドローム に着目した生活習慣病予防のための健診 (特定健診
^{こうきこうれいしゃいりょうけんこうしんさ}
・後期高齢者医療健康診査) についておたずねします。
(はひとつ)

- 1 ^{じゅしん} 受診している (したことがある)
- 2 ^{こんご} ^{じゅしん} 今後、受診したい
- 3 ^{きんむさき} ^{けんしん} ^{じゅしん} ^{ひつよう} 勤務先などで健診があるので、受診の必要がない
- 4 わからない

問12 ^{いし} ^{しかいし}
あなたには、かかりつけの医師や歯科医師はおられますか。(はひとつ)

- 1 ^{いし} ^{しかいし} かかりつけの医師も歯科医師もいる
- 2 ^{いし} かかりつけの医師はいる
- 3 ^{しかいし} かかりつけの歯科医師はいる
- 4 ^{いし} ^{しかいし} かかりつけの医師も歯科医師もいない

問13 ^{じしん} ^は ^ね ^は
あなたご自身の歯 (根っこのある歯) は、どの程度ありますか。(はひとつ)

- 1 ^{ほんいじょう} 20本以上ある
- 2 ^{ほんいじょう} ^{ほんい} ^か 10本以上19本以下である
- 3 ^{ほんい} ^か 9本以下である
- 4 ^{まった} 全くない

！ひとこと！
^{おとな} ^は ^{かず} ^{ぜんぶ} ^{ほん}
大人の歯の数は全部で28～32本
あります

問14 ^た ^{とき} ^{じょうたい}
かんで食べる時の状態についておたずねします。(はひとつ)

- 1 ^{なん} 何でもかんで食べることができる
- 2 ^{いちぶ} ^た ^{もの} 一部かめない食べ物がある
- 3 ^た ^{もの} ^{おお} かめない食べ物が多い
- 4 ^た かんで食べることはできない

問15 ^{にちじょうせいかつぜんぱん} ^{ふあん} ^{かん}
あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。(はひとつ)

- 1 ^{ふあん} ^{かん} とても不安を感じる
- 2 ^{たしょうふあん} ^{かん} 多少不安を感じる
- 3 ^{ふあん} ^{かん} 不安は感じない
- 4 わからない

(問16へ)

(問15-1へ)

問15-1 不安に感じることとはどのようなことですか。(はいくつでも)

- 1 あなたや家族の健康のこと
- 2 頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること
- 3 生活のための収入のこと
- 4 土地や家屋など財産のこと
- 5 人(近隣、親戚、友人、知人、仲間など)との付き合いのこと
- 6 子どもや孫の将来のこと
- 7 だまされたり、犯罪に巻き込まれたりすること
- 8 火災や地震など災害のこと
- 9 社会の仕組み(法律、社会保障など)が変わること
- 10 その他()

問16 あなたは、現在収入を得られる仕事をしてしていますか。(はいひとつ)

- 1 仕事をしている
- 2 仕事をしていない

問17 あなたは、今後仕事をしたい(続けたい)と思いますか。(はいひとつ)

- 1 仕事をしたい(続けたい)
 - 2 仕事をしたくない(仕事をやめたい)
 - 3 わからない
- (問18へ)

問17-1 仕事をしたい(続けたい)理由は何ですか。(はいくつでも)

- 1 生きがいを得られるから
- 2 健康に良いから
- 3 友人ができるから
- 4 何もしないと退屈だから
- 5 家族が望むから
- 6 小遣いが欲しいから
- 7 生活費が必要だから
- 8 その他()

問18 あなたにとっての楽しみや生きがいはどのようなことですか。(はいくつでも)

- 1 友人・知人とのつきあいなど
- 2 配偶者や子、孫など家族と過ごすこと
- 3 園芸や音楽鑑賞などの趣味活動
- 4 生涯学習や教養などを身につけること
- 5 運動・スポーツ
- 6 老人クラブ活動
- 7 町会、自治会、女性会等の地域団体の活動
- 8 社会奉仕、ボランティア活動
- 9 パソコンやインターネット、携帯電話
- 10 その他()
- 11 特にない

問19 次の施設や事業についておたずねします。

(は 状 況 ・ 意 向 欄 に そ れ ぞ れ ひ と つ づ つ)		利 用 (参 加) 状 況	利 用 (参 加) 意 向
(1)	老人福祉センター	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(2)	老人憩の家	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい

別紙「憩の家利用者の方へ」についてもご記入願います。

(3)	シルバー人材センター	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(4)	生涯学習センターの高齢者向け講座	1 参加したことがある(している) 2 知っているが参加したことはない 3 知らない	1 今後参加したい 2 参加したくない 3 サービス内容によっては参加したい
(5)	生涯学習ルーム事業	1 参加したことがある(している) 2 知っているが参加したことはない 3 知らない	1 今後参加したい 2 参加したくない 3 サービス内容によっては参加したい
(6)	市立文化施設等 敬老優待	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(7)	敬老優待乗車証	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(8)	高齢者入浴利用料 割引事業	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(9)	スポーツ施設の高齢者 割引	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用したことはない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい

問20 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の整備についておたずねします。
特別養護老人ホームの整備が進めば、介護保険料が高くなりますが、今後の整備についてどう思われますか。（はひとつ）

- 1 介護保険料が高くなっても、今後も特別養護老人ホームの増設が必要と思う
- 2 介護保険料が高くなるのは困るが、ある程度の増設は必要と思う
- 3 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う
- 4 わからない

問21 あなたは、特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）に入所する場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。（はひとつ）

- 1 従来型特別養護老人ホーム
〔4人部屋を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄等の日常生活において必要な介護を提供します。〕
- 2 ユニット型特別養護老人ホーム
〔すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。〕
- 3 どちらでもよい

問22 あなたは、介護や援護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。（はひとつ）

- 1 現在の住宅に住み続けたい
- 2 段差の解消や手すりの設置をしていたり、緊急時対応の職員がいたりする等、高齢者が安全・安心に暮らす対応がされた住宅に入居したい
- 3 介護付有料老人ホームやケアハウス、認知症高齢者グループホーム などに入居したい
- 4 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問23 どのような支援が身近であれば、自宅での生活を続けていけるとおもいますか。
(はいくつでも)

1	毎日の食事の準備・後片づけや掃除・洗濯など家事を手伝ってもらえること
2	入浴やトイレなどを介助してもらえること
3	病院まで送り迎えしてもらえること
4	自宅に来てくれる医師や歯科医師、看護師などの専門職がいること
5	住宅を改修するための支援を受けられること
6	必要なときに施設に宿泊できること
7	地域での見守り、隣近所の人声かけができていること
8	在宅での医療や介護サービスなどの24時間支援体制ができていること
9	その他()

問24 次の在宅福祉サービスについておたずねします。

(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)

		利用状況	利用(参加)意向
(1)	食事の配食サービス (大阪市生活支援型食事サービス)	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(2)	食事の会食サービス (ふれあい型食事サービス)	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい

別紙「食事の会食サービスの利用者の方へ」についてもご記入願います。

(3)	日常生活用具給付事業	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(4)	緊急通報システム	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい
(5)	ごみの持ち出しサービス	1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない	1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい

問25 次^{つぎ}の保健^{ほけん}サービス^{サービス}についておたずね^{おたずね}します。

(は^は状^{じょう}況^{きょう}・意^い向^{こう}欄^{らん}に
それぞれひとつずつ)

		利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})状 ^{じょう} 況 ^{きょう}	利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})意 ^い 向 ^{こう}
(1)	健康 ^{けんこう} 教育 ^{きょういく}	1 利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことがある(している) 2 知っているが、利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことはない 3 言葉 ^{ことば} は聞いたことがあるが、内容 ^{ないよう} は知らないし、利用 ^{りよう} したこともない 4 聞いたことも、利用 ^{りよう} したこともない	1 今後 ^{こんご} 利用 ^{りよう} したい 2 利用 ^{りよう} したくない 3 サービス内容 ^{ないよう} によつては利用 ^{りよう} したい
(2)	健康 ^{けんこう} 相 ^{そう} 談 ^{だん}	1 利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことがある(している) 2 知っているが、利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことはない 3 言葉 ^{ことば} は聞いたことがあるが、内容 ^{ないよう} は知らないし、利用 ^{りよう} したこともない 4 聞いたことも、利用 ^{りよう} したこともない	1 今後 ^{こんご} 利用 ^{りよう} したい 2 利用 ^{りよう} したくない 3 サービス内容 ^{ないよう} によつては利用 ^{りよう} したい
(3)	がん ^{がん} 検 ^{けん} 診 ^{しん}	1 利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことがある(している) 2 知っているが、利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことはない 3 言葉 ^{ことば} は聞いたことがあるが、内容 ^{ないよう} は知らないし、利用 ^{りよう} したこともない 4 聞いたことも、利用 ^{りよう} したこともない	1 今後 ^{こんご} 利用 ^{りよう} したい 2 利用 ^{りよう} したくない 3 サービス内容 ^{ないよう} によつては利用 ^{りよう} したい
(4)	訪問 ^{ほうもん} による ^{による} 保健 ^{ほけん} 指 ^し 導 ^{どう}	1 利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことがある(している) 2 知っているが、利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことはない 3 言葉 ^{ことば} は聞いたことがあるが、内容 ^{ないよう} は知らないし、利用 ^{りよう} したこともない 4 聞いたことも、利用 ^{りよう} したこともない	1 今後 ^{こんご} 利用 ^{りよう} したい 2 利用 ^{りよう} したくない 3 サービス内容 ^{ないよう} によつては利用 ^{りよう} したい
(5)	精神 ^{せいしん} 保健 ^{ほけん} 福 ^{ふく} 祉 ^し 相 ^{そう} 談 ^{だん}	1 利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことがある(している) 2 知っているが、利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことはない 3 言葉 ^{ことば} は聞いたことがあるが、内容 ^{ないよう} は知らないし、利用 ^{りよう} したこともない 4 聞いたことも、利用 ^{りよう} したこともない	1 今後 ^{こんご} 利用 ^{りよう} したい 2 利用 ^{りよう} したくない 3 サービス内容 ^{ないよう} によつては利用 ^{りよう} したい
(6)	介 ^{かい} 護 ^ご 予 ^よ 防 ^{ぼう} 事 ^じ 業 ^{ぎょう}	1 利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことがある(している) 2 知っているが、利用 ^{りよう} (受 ^{じゅ} 診 ^{しん})したことはない 3 言葉 ^{ことば} は聞いたことがあるが、内容 ^{ないよう} は知らないし、利用 ^{りよう} したこともない 4 聞いたことも、利用 ^{りよう} したこともない	1 今後 ^{こんご} 利用 ^{りよう} したい 2 利用 ^{りよう} したくない 3 サービス内容 ^{ないよう} によつては利用 ^{りよう} したい

(簡^{かん}単^{たん}な説^{せつ}明^{めい}は同^{どう}封^{ふう}の別^{べつ}紙^しを^をご覧^{らん}く^くだ^ださい。)

問26 地域包括支援センター または総合相談窓口(ブランチ) を利用したことがありますか。(はひとつ)

- 1 利用したことがある(知っている)
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 聞いたことはあるが、何をするとところかわからない (問27へ)
- 4 聞いたことがない(知らない)

問26-1 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ブランチ)をどのようにして知りましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。(はひとつ)

- 1 区役所など行政機関から聞いた
 - 2 介護保険事業者(ケアマネ・ヘルパーなど)や施設から聞いた
 - 3 病院、主治医など医療機関から聞いた
 - 4 民生委員・町会等の地域役員から聞いた
 - 5 家族・友人、知人から聞いた
 - 6 パンフレットや資料から知った
 - 7 その他
- (問26-2へ)

問26-2 どのような目的で、利用(相談)しましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。(はひとつ)

- 1 介護や日常生活の困りごと
(介護保険制度について、家族の介護など)
 - 2 物忘れ、認知症について
 - 3 高齢者虐待について
 - 4 介護予防ケアプランについて
(要支援1、要支援2の認定になった)
 - 5 二次予防事業対象者(はつらつシニア)について
 - 6 保健、医療サービスや制度について
 - 7 相談ではなく、一緒に活動したことがある
(研修、高齢者のかたの見守り活動など)
 - 8 その他()
- (問26-3へ)

問26-3 利用した満足度についておたずねします。(はひとつ)

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満

(簡単な説明は同封の別紙をご覧ください。)

問27 あなたは、下の [] 内の行為を受けたことがありますか、また「65歳以上の親戚、知人が受けた」と聞いたことがありますか。(はい/いつでも)

- つねる、叩く、蹴る、殴るなど身体に暴力を加える
- 怒鳴る、悪口を言う、話しかけても無視をする
- 食事や入浴、排泄の世話を十分にしてくれない
- 本人に無断で本人の年金などを使ってしまう、自由になるお金を持たせてくれない
- 性的な行為を強要する

- 1 あなたご自身が受けたことがある
- 2 「65歳以上の親戚、知人が受けた」と聞いたことがある
- 3 受けたことも聞いたこともない

これらの行為は「高齢者虐待」です。身近にこのようなことを見聞きされた場合は各区保健福祉センターや地域包括支援センターにご相談ください。

問28 あなたやあなたの家族・知人に、もの忘れが多くなったなど不安に思うとき、まず、どこに相談しますか。(はい/いつでも)

- 1 家族、親族、友人または知人
- 2 民生委員・町会等の地域役員または近所の人
- 3 病院やかかりつけの医師(精神科以外)
- 4 精神科医療機関や認知症疾患医療センター
- 5 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)
- 6 区役所・保健福祉センター
- 7 認知症の人と家族の会や認知症サポーター
- 8 相談する人がいない、または、相談場所がわからない

問29 あなたは「^{にんちしょう}認知症」という^{びょうき}病気をご^{ぞんじ}存知でしたか。(はひとつ)

！ひとこと！

^{にんちしょう}認知症は誰しもがなる^{かのうせい}可能性のある^{びょうき}病気です。^{そうきはっけん}早期発見、^{そうきたいおう}早期対応により^{しんこう}進行を遅らせる、または、^{ちりょう}治療で治せる^{ばあい}場合があるので、^{そうき}早期に^{しんだん}診断を受けることが^{たいせつ}大切です。

1 ^{げんいん}原因となる^{びょうき}病気や^{しょうじょう}症状などについて
だいたいわかる

3 わからない(問30へ)

2 ^{ことば}言葉は聞いたことがあるが、^{げんいん}原因となる
^{びょうき}病気や^{しょうじょう}症状などについてはわからない

問29-1 あなたが^{にんちしょう}認知症について^き聞いた(^{まな}学んだ) ことがあることについておたずねします。(はいくつでも)

1 ^{にんちしょう}認知症は誰しもがなる^{かのうせい}可能性のある^{びょうき}病気である

2 ^{そうき}早期に^{たいおう}対応することで^{しんこう}進行を遅らせることができる^{びょうき}病気もある

3 ^{にんちしょう}認知症とよく似た^{じょうたい}状態を示す^{しめ}病気があり、^{そうきはっけん}早期発見により^{ちりょう}治療で^{なお}治せるものもあるので、^{そうき}早期に^{しんだん}診断を受けることが^{ひつよう}必要である

4 ^{よぼう}予防のためには^{ひごころ}日頃から^{あたま}頭や^{からだ}体を^{はたら}働かせることが^{たいせつ}大切である

5 ^{にんちしょう}認知症を理解し、^{にんちしょう}認知症の人や^{ひと}家族を^{かぞく}支援する^{しえん}応援者になるための^{おうえんしゃ}認知症サポーター
^{ようせいこうざ}養成講座がある

6 ^{にんちしょう}認知症の人を^{かいご}介護する^{かぞく}家族のための^{こうりゅうかい}交流会がある

問30 さいきん こりつし おお もんだい こりつし
最近「孤立死」が大きな問題になっていますが、あなたは、孤立死についてどのよ
うに考えますか。(はひとつ)

1 みじか もんだい
身近な問題だと思ふ

2 みじか もんだい おも
やや身近な問題だと思ふ

3 みじか もんだい おも
あまり身近な問題だと思わない

4 みじか もんだい おも
身近な問題だと思わない

5
わからない

(問31へ)

問30-1 おも りゆう つぎ
主な理由は次のどれにあたりますか。(はいくつでも)

1 しんぞく つ あ すく
親族との付き合いが少ないから

2 きんじょ つ あ すく
近所との付き合いが少ないから

3 ゆうじん つ あ すく
友人との付き合いが少ないから

4 あまり外出しないから

5 びょうき がちであったり、けんこう ふあん
病気がちであったり、健康に不安があるから

6 とく りゆう
特に理由はない

7 その他()

(問30-2へ)

問30-2 こりつし ふせ ほうほう ひつよう ゆうこう おも
孤立死を防ぐための方法として必要(有効)と思ふものはどれですか。
(はいくつでも)

1 きんきゅうじ お じどうてき つうほう たす く
緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス

2 けんこうそうだん かん ごしなど じかんたいおう
健康相談に看護師等が24時間対応してくれるサービス

3 べんどう はいしょくじ あんびかくにん おこな
弁当の配食時に安否確認を行うサービス

4 しゅうかいしょなど かいしょくかい もよう ちいきこうりゅう ふか
集会所等で会食会を催し地域交流を深めるサービス

5 ていきてき でんわ あんびかくにん おこな
定期的に電話があり安否確認を行うサービス

6 ごみのひきとり じ いじょう きんきゅうれんらくさき つうほう
ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス

7 ちいき みまも かつどう 民生委員・町会・地域活動協議会・地域社会福祉協議会等

8 かいごほけん など りよう
介護保険サービス等の利用

9 けんこう 健康づくりや介護予防サービスの利用

10 ゆうじん ちじん
友人や知人とのつながり

11 きんじょ ひと こえ か あ
近所の人と声を掛け合うこと

12 しんぶん ぎゅうにゅうはいたつじ あんびかくにん
新聞や牛乳配達時の安否確認

13 その他()

問31 あなたは、災害時や緊急時に一人で避難することができますか（ はひとつ）

- 1 避難できる（ 問31-2へ）
- 2 一人で判断できるが、避難はできない
- 3 一人では判断できないし、避難もできない
- 4 わからない

問31-1 災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（ はひとつ）

- 1 常時いる
 - 2 時間帯によってはいる
 - 3 いない
 - 4 わからない
- （ 問31-2へ）

問31-2 災害が起きた時の心配事や問題点はありますか。（ はいくつでも）

- 1 避難情報がわからない
- 2 避難所が遠い
- 3 浸水の恐れなどがある
- 4 家が古い
- 5 同居の家族が動けない
- 6 その他（)
- 7 わからない

問32 あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。（ はいくつでも）

- 1 同居の家族
- 2 別居している親族
- 3 友人・知人・近所の人
- 4 町会・自治会の役員など
- 5 地域活動協議会、地域社会福祉協議会等、
地域の見守り活動を行っている組織
- 6 区社会福祉協議会
- 7 民生委員
- 8 介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者
- 9 区役所・保健福祉センター
- 10 地域包括支援センターや総合相談窓口（ブランチ）
- 11 病院・かかりつけの医師
- 12 その他（)
- 13 特にない

別紙の「地域で見守り活動を行っている組織への相談者の方へ」についてもご記入をお願いします。

簡単な説明は同封の別紙をご覧ください。）

問33 あなたは、高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか。
(はいくつでも)

- 1 「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌
- 2 市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど
- 3 新聞・テレビ・ラジオなど
- 4 家族・友人・知人など
- 5 町会・自治会など
- 6 地域活動協議会、地域社会福祉協議会等
地域の見守り活動を行っている組織
- 7 区社会福祉協議会
- 8 民生委員
- 9 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者
- 10 区役所・保健福祉センター
- 11 地域包括支援センターや総合相談窓口(ブランチ)
- 12 老人福祉センター
- 13 その他()
- 14 特になし

別紙の「地域で見守り活動を行っている組織への相談者の方へ」についてもご記入をお願いします。

問34 あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと考えますか。主なものに3つまでをつけてください。(は3つまで)

- 1 健康づくり・介護予防
- 2 生きがいづくり
- 3 就労支援
- 4 介護保険サービス(居宅サービス)の充実
- 5 介護保険サービス(施設サービス)の充実
- 6 介護保険外サービス(問19にある福祉サービス)の充実
- 7 認知症に関する相談窓口の充実
- 8 認知症の人やその家族を支援する介護保険サービスや福祉サービスの充実
- 9 病院やかかりつけ医における、認知症に関する医療サービスの充実
- 10 家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること
- 11 虐待防止や財産保全等の権利擁護
- 12 高齢者施策に関する情報の提供と相談
- 13 民生委員・町会等の地域の見守り、相談機能の充実
- 14 若い世代との交流を促進するしくみづくり
- 15 防災対策の充実
- 16 公共交通機関のバリアフリー化の促進
- 17 公園や歩道など、安心して外出・休息できる場の整備
- 18 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実
- 19 その他()
- 20 特になし

また、つけた中で特に重点を置くべきだと考えるものはどれですか。番号を1つだけお書きください。

番号	
----	--

おおさかし こうれいしゃしさく 意見・ご要望等を、次の欄に記入してください。
大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望等を、次の欄に記入してください。
こうれいしゃしさく かん いけん ようぼうなど
高齢者施策に関する意見・要望等

【調査は以上で終わります。ありがとうございました。】

おおさかしこうれいしゃじつたいちょうさ きょうりょく ねが
大阪市高齢者実態調査にご協力をお願いします。

このたび、^{おおさかし}大阪市では「^{おおさかしこうれいしゃじつたいちょうさ}大阪市高齢者実態調査」を^{じっし}実施することとなりました。

この調査は、^{ちようさ}今後の^{こんご}大阪市の^{おおさかし}高齢者^{こうれいしゃ}施策^{しやく}を^{すいしん}推進するための^{しりょう}資料とさせていただきます。ただ、^{しない}市内にお住まいの^す65歳^{さいいじょう}以上の方から^{かた}18,000人^{にん}を無作為^{むさく}に^{えら}選び、^{ねが}お願いしているものです。

^{かいとう}ご回答^{ないよう}いただきました内容は^{とうけいてき}すべて統計的に^{しより}処理し、この^{ちようさ}調査の^{もくてき}目的にのみ^{しょう}使用し、^{ふりえき}みなさまには^{こじんじょうほう}不利益のないよう^{ほじ}個人情報^{ばんぜん}の保持には^き万全を期しております。

^{なに}何かとお^{いそが}忙しいところ^{てすう}お手数では^{ちようさ}ございますが、^{しゆし}調査の^{りかい}趣旨をご^{ねが}理解いただき、^{ぜひ}是非とも^{きょうりょく}ご協力^{ねが}いただきますよう、よろしく^{ねが}お願いいたします。

【^{ちようさ}調査^{とあ}について^あのお^{さき}問い合わせ先】

^{おおさかし}大阪市 ^{ふくしきょく}福祉局 ^{こうれいしゃしやくぶ}高齢者施策部

^{こうれいふくしか}高齢福祉課

^{でんわ}電話：6208-8026

ファックス：6202-6964

^{うけつけじかん}(受付時間：^{へいじつ}平日 ^{ごぜん}午前9時～12時・^じ午後1時～5時30分^{ぶん})

おおさかしこうれいしゃじつたいちようさ ほんにんちようさ ベっし ちようさひよう か じぎよう かんたん せつめい
 大阪市高齢者実態調査 (本人調査) の別紙 【調査票に書いている事業などの簡単な説明】

ちようさひよう とい
 調査票 3 ページ 問 4

サービス付き高齢者向け住宅	たんしんこうれいしゃ ふうふ せたい く しえん あんびかくにん せいかつ 単身高齢者、夫婦のみ世帯の暮らしを支援する安否確認・生活 そうだんなど ちんたいじゅうたく 相談等のサービスが付いたバリアフリーの賃貸住宅です。
ゆうりょうろうじん 有料老人ホーム	とくべつようごろうじん にゅうしょようけん がいどう かの こうれいしゃ 特別養護老人ホームの入所要件に該当しない方などの高齢者が にゅうきよ しょくじ にゅうよく にちじょうせいかつ ひつよう 入居し、食事や入浴などの日常生活に必要なサービスを受ける みんかんしせつ ことのできる民間施設です。

ちようさひよう とい
 調査票 4 ページ 問 5 - 1

(1) ほうもんかいご 訪問介護(ホームヘルプサービス)	ホームヘルパーが家庭で、介護や家事の援助をします。
(2) ほうもんかんご 訪問看護	かんごし ほうもん りょうようじょう せわ しんりょう ほじょ 看護師などが訪問し、療養上のお世話、診療の補助を おこな 行います。
(3) つうしょかいご 通所介護(デイサービス)	にゅうよく しょくじ ていきよう デイサービスセンターなどで、入浴や食事の提供、レク りエーションなどの機能訓練を日帰りで行います。
(4) たんきにゅうしょせいかつかいご 短期入所生活介護 (ショートステイ)	しせつ たんきかんにゅうしょ かいご きのうくんれん おこな 施設に短期間入所し、介護や機能訓練などを行います。
(5) やかんたいおうがたほうもんかいご 夜間対応型訪問介護	やかん ていきてき つうほう ほうもんかいご おこな 夜間に、定期的または通報による訪問介護を行います。
(6) にんちしょうたいおうがたつうしょかいご にんちしょう 認知症対応型通所介護(認知症の ひとむ 人向けのデイサービス)	にんちしょう かの たいしょう にゅうよく しょくじ ていきよう きのうくんれん 認知症の方を対象に、入浴や食事の提供、機能訓練な ひがえ おこな どを日帰りで行います。
(7) しょうきぼたきのうがたきょたくかいご 小規模多機能型居宅介護	がよ ちゅうしん ほうもん と く あ 通いを中心に、訪問や泊まりのサービスを組み合わせて にちじょうせいかつじょう せわ きのうくんれん おこな 日常生活上のお世話や機能訓練などを行います。
(8) にんちしょうたいおうがたきょうどうせいかつかいご 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	にんちしょう かの たいしょう きょうどうせいかつじゅうきよ にん 認知症の方を対象に、共同生活住居(5~9人)で にちじょうせいかつじょう せわ きのうくんれん おこな 日常生活上のお世話や機能訓練などを行います。
(9) ていき じゅんかい ずいじたいおうがた ほうもん かいご 定期巡回・随時対応型訪問介護 かんご じかん 看護(24時間サービス)	じかんあんしん きょたく せいかつ おく かいごしよくいん 24時間安心して居宅での生活が送れるよう、介護職員と かんごしよくいん にちちゅう やかん つう ていき じゅんかいほうもん 看護職員が、日中・夜間を通じて、定期の巡回訪問と ずいじたいおう おこな 随時対応を行います。

調査票 6 ページ 問 10

ロコモティブシンドローム うんどうきしょうこうぐん (運動器症候群)	ほね かんせつ きんにく うんどうき きのう おとろ かいご ひつよう 骨、関節、筋肉などの運動器の機能が衰えるために介護が必要と じょうたい おそ じょうたい なる状態もしくは恐れのある状態をロコモティブシンドローム といいます。
--	--

ちようさひよう とい
 調査票 9 ページ 問 19

(1) ろうじんふくし 老人福祉センター	かくく しゅみ きょうよう こうざ おこな 各区にあり、趣味・教養の講座やレクリエーションを行って います。
(2) ろうじんいこい いえ 老人憩の家	こうれいしゃ きょうよう こうじょう どう かつどう ば 高齢者の教養の向上やレクリエーション等の活動の場、ま ちいき じゅうみんどう どう じしゅ かつどう ば た、地域住民等のボランティア等の自主活動の場として しょうがっこうか きほん せいび 小学校下を基本として整備しています。
(3) じんざい シルバー人材センター	りんじてき たんきてき しごと ていきよう 臨時的、短期的な仕事を提供しています。
(4) しょうがいがくしゅう 生涯学習センターの こうれいしゃむ こうざ 高齢者向け講座	しょうがいがくしゅう しみがくしゅう かくしゅこうしゅう こうざ 生涯学習センター・市民学習センターで、各種講習・講座 しょうがいがくしゅう かん そうだん じょうほうていきよう おこな や生涯学習に関する相談・情報提供を行っています。

(5)	しょうがいがくしゅう じぎょう 生涯学習ルーム事業	しょうがっこう かくしゅ こうしゅう こうざ かいせつ 小学校で各種の講習・講座を開設しています。
(6)	しりつぶんかしせつなどけいろうゆうたい 市立文化施設等敬老優待	しりつぶんかしせつ ゆうたい にゅうえんりょう にゅうかんりょう むりょう 市立文化施設などへ優待します。(入園料・入館料が無料)
(7)	けいろうゆうたいじょうしゃしゅう 敬老優待乗車証	さいいじょう かた しえいこうつうきかん ちかてつ し 70歳以上の方に市営交通機関(地下鉄・市バス・ニュートラム)の無料乗車証を交付しています。
(8)	こうれいしゃにゆうよくりようりょうわりびきじぎょう 高齢者入浴利用料割引事業	さいいじょう かた つぎ かい にち にち こうしゅうよくじょうにゆうよくりょうきん 70歳以上の方に、月2回(1日と15日)公衆浴場入浴料金の割引を実施しています。
(9)	市立スポーツ施設の高齢者 わりびき 割引	しえいおくがい おくない じょう 市営屋外・屋内プール、アイススケート場、トレーニングルームでは、高齢者割引(子供料金と同額)を実施しています。

ちょうさひょう 10 ページ 問22

ケアハウス	さいいじょう かた しんたいきのう ていかとう じりつ にちじょう 60歳以上の方であって、身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があり、家族による援助を受けることが困難な方など的高齢者が入居し、低額な料金で食事や入浴などの日常生活に必要なサービスを受けることができる施設です。
にんちしょうたいおうがたきょうどうせいかつかいご (グループホーム)	にんちしょう かた たいしょう きょうどうせいかつじゅうきよ にん にちじょう 認知症の方を対象に、共同生活住居(5~9人)で日常生活上のお世話や機能訓練などを行います。

ちょうさひょう 11 ページ 問24

(1)	しょくじ はいしょく 食事の配食サービス (大阪市生活支援型食事サービス)	ようかいごにんてい う く こうれいしゃ せたいどう たい 要介護認定を受けているひとり暮らしや高齢者のみの世帯等に対し、食事を配食し安否確認を行う事業です。
(2)	しょくじ かいしょく 食事の会食サービス (ふれあい型食事サービス)	く こうれいしゃ せたいどう たい ろうじんいらい いえ ひとり暮らしや高齢者のみの世帯等に対し、老人憩の家などにおいて会食を中心としたサービスを提供し、高齢者の方の健康増進や地域との交流を深める事業です。
(3)	にちじょうせいかつようぐきゅうふじぎょう 日常生活用具給付事業	ざいたく こうれいしゃ せいかつ べんぎ はか かさい けいほうき じどう 在宅高齢者の生活の便宜を図るために、火災警報器・自動 消化器・電磁調理器等を給付します。
(4)	きんきゅうつうほう 緊急通報システム	く こうれいしゃ せたいどう たい きんきゅうつうほうそうち ひとり暮らしや高齢者のみの世帯等に対して、緊急通報装置を 貸与し、緊急時にボタンを押して通報します。
(5)	ごみのもちだし サービス	く こうれいしゃ せたい たい かてい ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対して、家庭までごみの 収集に伺います。

ちょうさひょう 12 ページ 問25

(1)	けんこうきょういく 健康教育	ちいき しゅうかいじょ ほけんふくし など せいかつしゅうかんびょうよぼう かいご 地域の集会所や保健福祉センター等で、生活習慣病予防や介護 予防、健康づくりに関しての講話等を行います。
(2)	けんこうそうだん 健康相談	ほけんふくし など けんこう かん こべつ そうだん おこな 保健福祉センター等で、健康に関する個別の相談を行います。
(3)	がん検診	い だいちょう はい しきゅう にゅう など けんしん ほけんふくし 胃・大腸・肺・子宮・乳がん等の検診を保健福祉センター、 とりあつかいりょうきかん おこな 取扱医療機関などで行います。
(4)	ほうもん 訪問による保健指導	けんこうじょうたい せいかつかんきょう おう ほけんし かんごし えいようし し か 健康状態や生活環境に応じ、保健師や看護師、栄養士、歯科 えいせいし かていほうもん ひつよう ほけんしどう おこな 衛生士が家庭訪問をして必要な保健指導を行います。
(5)	ろうじんせいしんほけんふくし 老人精神保健福祉相談	せいしんか い し せいしんほけんふくし 精神科医師、精神保健福祉相談員等が、高齢者と家族に対して老 ねんき せいしんしっかん こうれいしゃ せいしんほけん かん そうだん おこな 年期の精神疾患など、高齢者の精神保健に関して相談を行いま

		<p>す。</p> <p>ご自身の生活や健康状態を25の質問項目でチェックできる「基本チェックリスト」により、一定の項目に該当された要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者（二次予防事業対象者）に対し、運動器（体を動かすための骨や筋肉など）の機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防などを目的として実施している介護予防のための教室や訪問事業です。</p>
(7)	<p>介護予防事業</p> <p>特定健診</p>	<p>大阪市国民健康保険被保険者で年度内に40歳に到達される方から74歳までの方に対し糖尿病等の生活習慣病の該当者及び予備軍を減少させるため、特定保健指導を必要とする者を的確に抽出するとともに、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより健康の保持増進を図るため、集団健診会場や取扱医療機関において特定健康診査を実施しています。</p>
(8)	<p>後期高齢者医療健康診査</p>	<p>大阪府後期高齢者医療広域連合が指定する医療機関において、年度中に1回無料で健康診査を受診できます。</p>

調査票13 ページ 問26

<p>地域包括支援センター</p>	<p>高齢者やその家族からの介護・福祉・医療に関する相談に応じ地域の様々な機関と協力して問題を解決したり、介護予防サービスや介護予防事業の利用にあたってケアプランを作成する施設で、お住まいの地域によって担当するセンターが決まっています。</p>
<p>総合相談窓口（ランチ）</p>	<p>高齢者の方やそのご家族のための、より身近な相談窓口です。地域包括支援センターと連携し高齢者の方の支援を行います。</p>

調査票13 ページ 問26-2

<p>二次予防事業対象者（はつらつシニア）</p>	<p>ご自身の生活や健康状態を25の質問項目でチェックできる「基本チェックリスト」により、一定の項目に該当された要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者のことです。</p>
---------------------------	---

調査票14 ページ 問28

<p>認知症疾患医療センター</p>	<p>地域の医療や介護の関係機関と連携を図りながら、認知症に関する専門的な医療の提供や相談等を行う医療機関で、大阪市では、次の医療機関を指定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市立大学医学部附属病院 ・ ほくとクリニック病院 ・ 大阪市立弘済院附属病院
--------------------	---

調査票17 ページ 問32

<p>介護支援専門員（ケアマネジャー）</p>	<p>心身の状況に応じて適切な介護保険サービスを利用できるよう市町村、サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整を行う人のことです。</p>
-------------------------	--